

きらボ通信

第6号（2011年2月）

明星大学ボランティアセンター（愛称：きらきらボランティアセンター）

特集：2010夏の学生ボランティア活動報告会

学内外のニーズと大学ボランティアセンターの役割



渡戸一郎

（本センター長/人文学部人間社会学科教授）

早いもので、本センター創設から2年半余が経過した。この間、学内でのセンター認知度は順調に高まり、センターを利用する学生や、手話やノートテイクなどに取り組む学生が増えつつある。また、学生ボランティア団体会議が定期的に開催されて、団体相互の連携が生まれ、新たな学生ボランティアグループもいくつか誕生した。同時に、熱心な教職員の方々から学生ボランティア活動についての問い合わせや、授業と関連させたプログラム開発の相談も持ち込まれるようになった。さらに、地域との関わりも日野・八王子・多摩・立川・青梅などを中心に広がりつつある。

このようにセンターが肯定的に受け入れられる背景には、今日の大学生や大学、そして地域社会が抱えるさまざまな課題の存在があろう。多様化・複雑化し、変化のスピードが速い現代社会では、学生にとって、“実践”を通じた各自の関心テーマの掘り下げ、社会経験と視野の広がり、異質な他者の受容と居場所づくりなどが、

また、大学にとっては、decentな市民をめざす教育、地域等との連携を通じた教育研究プログラムの展開や社会貢献などが、課題になっている。また、少子高齢化が進むとともに多様な課題を抱える地域では、若い学生の参加への期待が高まっている。

11月上旬の日本社会学会大会で、「高等教育と地域との連携—大学ボランティアセンターの活動を中心として—」という報告があった。他の部会に出ていた私は直接この報告を聞けなかったが、報告要旨集によると、関西圏内の大学ボランティアセンターは、主にキャンパス周辺地域と連携しているが、大半が短期のイベント型活動であり、提携先から依頼を受ける形であるため、「地域との連携」という積極的な認識が見られないという。本学のセンターも今後、積極的な地域連携の構築を含め、学内外のニーズを踏まえた中長期的な計画づくりが必要になっていることは間違いない。来年度創設3周年を迎えるのを機に、この課題に取り組みたい。

2010 夏の学生ボランティア活動報告会

—実施報告—

- ①日時：平成 22 年 10 月 12 日(火) 18:10~19:30 交流会 19:45~20:30
- ②会場：28 号館 1 階プレゼンテーション室(100-3)
交流会：大学会館ボランティアセンター室
- ③コメンテーター：JUON(樹恩)NETWORK 鹿住貴之理事・事務局長
- ④参加者：約 100 名(交流会約 60 名)
学外参加者：日野市社会福祉協議会、日野市青少年委員の会、あばれんぼキャンプ
東京ローターアクトクラブ、実践女子大学ボランティア同好会

昨年に引き続き「夏の学生ボランティア活動報告会」を開催しました。今年も、助言者として特定非営利活動法人 JUON(樹恩) NETWORK から鹿住理事・事務局長にお越しいただき、学内の福祉、教育、環境などさまざまな分野の 7 つのボランティア団体の方々が、「学生ボランティア活動のめざすものと課題」をテーマに、思い出深い夏の活動報告をしました。学内外 100 名の参加者で、プレゼンテーション室がいっぱいになりました。終了後、きらボでの交流会も盛り上がり、昨年以上の楽しさでした。



総評

鹿住貴之（特定非営利活動法人 JUON(樹恩) NETWORK 理事・事務局長）

報告会にお招きいただきありがとうございます。学生のみなさんの生き活きとした活動の様子を拝見し、私も元気をいただきました。昨年よりも発表団体が増え、立ち見も出るほどで、報告会の広がりを感じられます。

私は、学生時代に知的障害児と遊ぶボランティア活動を始め、その後、学生ボランティアのネットワークを広げる活動や学生ボランティアセンターの設立などを行ってきました。現在では、そのことがきっかけとなり、本業では森林を中心とした環境問題に取り組み、また、様々な形でボランティア・NPO 活動を中心とした市民社会の実現に向けて活動しています。

みなさんは、現在行っている活動が直接仕事に結びつくこともあるかもしれませんが、そうならないかもしれません。しかし、学生時代のボランティア活動の経験は、必ずや今後の人生にとって大きな意味を持つことになるでしょう。

さて、学生ボランティアの意義は、一言で言うと「学びと成長」であると考えています。しかしながら、それは決して目的ではなく、結果としてついてくるものだとも思っています。今回の発表の際、みなさんは一様に緊張していましたが、この経験も今度必ず生きてくるはずです。また、ボランティア活動では、継続性も大切ですが、継続すれば自ずと広がり生まれ、次々と成長する機会が増えていきます。更には、社会に出る前に、社会の仕組みも学ぶことができるはずです。

ボランティア活動を行う際の学生ならではの特徴として、少々の失敗は許されるということが挙げられます。勿論、活動を行う上では必ず責任

を伴いますが、学生ということで許容されることもあります。そこを逆手にとって、是非トライ&エラーで発展して欲しいと思います。また、継続しながらいろいろと突っ込んでいけば、その中から見えてくることはとても多いことでしょう。

ボランティア活動の4原則は、「自主性・主体性」「社会性・連帯性」「無償性・無給性」「創造性・開拓性・先駆性」です。ボランティアは、決して単なる安価な労働力ではありません。社会をよりよくしていくための活動という視点が常に重要です。そして、社会に対して発信をしていくということも非常に大切なことです。

みなさんが、今後も楽しく、そして、元気に活動を続けていくことを願っています。共に頑張りましょう。



助言者 鹿住貴之氏

~~~~~



## 明星大学文化会へき地教育研究会

へき地教育研究会

内堀 慎太郎（心理・教育学科教育学専修 3年）

山本 渉平（心理・教育学科教育学専修 3年）

こんにちは。私たちは明星大学文化会へき地教育研究会です。

へき地教育研究会は、様々な学科から「子ども・自然・人のあたたかさ」が大好きな学生が集まって活動しております。私たちは毎年夏休みを利用して少人数の小学校・幼稚園に1週間ほど訪問し、合宿を行わせていただいております。今年は、長野県飯田市立上村小学校、愛媛県伊予市立翠小学校、東京都利島村立利島小学校、福井県福井市立長橋小学校・幼稚園、山梨県早川町立早川北小学校に訪問させていただきました。ここでは、5校のうち利島小学校の活動紹介をさせていただきます。

利島小学校は、東京の伊豆諸島の1つの利島という島にある小さな小学校です。明治10年に開校し、今年で133年目になるとも歴史ある小学校です。全校児童数は14人で、2年生と3年生は1人しかいません。英語教育にも力を入れていて、去年文部科学省からモデル校として認定されました。

ここからは、合宿での主な活動をいくつかピックアップして説明させていただきます。

まず、「授業研究」です。簡単に言えば、授業を見学させていただくという活動です。しかし、へき地校ならではの教育が見られる良い機会でもあります。魅力的な授業をされているので、とても勉強になりました。

「学生授業」は、学生が45分完結の授業を実際に行うという活動です。利島小学校では1・2年生に[Thank you カード作り]、3・4年生に[物語を創造しよう]、5・6年生に[権利の熱気球]という授業をやらせていただきました。とても良い経験になりました。

「体験活動」は、全校で行う活動で、[世界の遊び]という活動をやらせていただきました。楽しみながら学びにつながる活動ができました。

「奉仕活動」は、学生を受け入れていただく小学校に対して感謝の気持ちから、何かお手伝いをさせていただいております。利島小学校では樺の実拾いや、樺畑の掃除などをやらせていただきました。

合宿を通して、とても感じることや学ぶことが多いです。毎年、一生ものの経験や思い出を作っています。



利島班 学生写真

## 2010 朝日キャンプ活動報告

羽生 菜実（心理・教育学科教育学専修2年）

### 朝日キャンプとは

→知的障がいや自閉症のある子どもたちと野外活動・レクリエーション(キャンプ等)を通し交流を深めている団体です。

今年度も、障がいのある子どもたちと夏に群馬県武尊山に8月に3回(3泊4日)キャンプ・秋キャンプにいきました。また、子どもたちと行くキャンプに向けて、学生が計画からキャンプを作り、スキルアップ合宿・キャンプファイヤーのスタンプ練習会・ミーティング等を随時行ってきました。

そして、今年初の試みとして明星大学内で学生のスキルアップを目的とした“シーバーゲーム講習会”を宮崎さん指導の下、開かせていただきました。

今年度も私たちは、“キャンパーズファースト”という、子どもたちを第一に考えたより安全で質の高いプログラムを提供しようと互いに切磋琢磨しながら取り組んできました。この経験自体は根気と労力がある大変なことです。

ですがそこから一人ひとりが心の豊かさ・新しい自分の可能性・魅力に気づいたのではないのでしょうか？また、互いを受け入れ認め合える仲間の存在はこれからの私たちの人生でかけがえのない支えになってくれるのではないかと感じます。そしてなによりも、こどもたちの“素敵な笑顔”に出会え、多くの“人の暖かさ”に触れ合え、“感動”を実感・かみ締めるといふこと。

生きているすばらしさを感じることでできる場が“朝日キャンプ”ではないかと、感じました。



## 環境保全活動

### ふだん着で CO<sub>2</sub> を減らそう

めばえの会、Idea 研究会、MCAT 所属  
當間 幸太郎（環境システム学科3年）

ふだん着で CO<sub>2</sub> を減らそうって何？

「ふだん着で CO<sub>2</sub> を減らそう」は日野市環境共生部環境保全課のふだん着で CO<sub>2</sub> をへらそう実行委員会が行っている事業です。

この「ふだん着で CO<sub>2</sub> を減らそう」という事業は暮らしの中で省エネルギー活動を行い、その省エネルギー活動を「自己宣言」（自分がどのような活動をしたかを書き込み、それでどれだけ CO<sub>2</sub> と光熱費が削減されたかを調べられるアンケート用紙）に書いてもらうのを多くの人に呼びかけるのが事業です。

どんな事をしているの？

この事業を多くの人に知ってもらうために日野市環境共生部環境保全課の方々とボランティアでアピール活動を行っています。

その活動は日野市内の家庭に訪問し「ふだん着で CO<sub>2</sub> を減らそう」の PR やアンケートに答えてもらったり、京王線高幡不動駅、JR 日野駅、多摩動物公園、日野でのイベントを中心に学生ボランティアが一人ひとりに普段からできるエコの大切さ、続けることの重要性を多くのひとに伝え、マスコットキャラクターのエコクマ、エコアラで子どもから大人まで幅広く PR しています。



# 環境保全活動

日野東光寺での緑地保全活動

明星大学☆学生緑地環境保全ボランティアサークル クローバー

石崎 智史（情報学科 2年）

皆さんは緑地保全活動と聞くとどんな活動をイメージするでしょうか？

幼木の植樹、森林でのゴミ拾い、木竹の伐採など、緑地保全には様々な活動があります。その中でクローバーは絶滅危惧種の植物を守るため、木竹を伐採する活動をしています。

私たちが活動している日野駅近くの山では、カタクリなどの貴重な植物が群生していますが、その周りにある木竹が陽の光を遮り、植物の成長を妨げてしまいます。その為私たちが市の指導員の元、雑木を伐採し、カタクリが成長するのに適した環境作りを行っています。

クローバーには環境学科のメンバーがほとんどなのですが、私は環境とは全く関係のない情報学科の人間です。

私にとっては活動は単位にもなりませんし、卒論のテーマにもなりません。しかし、この活動を通して普段では体験の出来ない事を体験できました。そのことで自然に興味を持ち、また、世代を超えた地域の方々との交流からたくさんの事を学びました。皆さんも、少しでも興味を持たれたら、是非参加してみてください。

連絡は環境学科・実習指導員 橋田 か、ボランティアセンターの方に声をかけて下さい。



活動場所の風景



東京都レッドデータブックではランク A の絶滅危惧種



さわがに



国際ロータリー第2750地区ローターアクト

# 東京日野ローターアクトクラブ

東京日野ローターアクトクラブ 会長 手塚真衣

## ・ローターアクトクラブとは？

1968年にアメリカで発足し、世界159の国と地域で7833クラブ18万人の会員がいる国際的奉仕団体です。日本には地域や大学を母体として280クラブ会員6400人が所属しています。

18～30歳までの青年男女が、社会奉仕・国際奉仕・地域奉仕・専門知識開発をテーマに自分たちで企画を立て、ボランティア活動をしている団体です。経営者や社会のリーダーが多く所属するロータリークラブの青年部といえます。

社会の中でリーダーとして活躍するための研修や、海外の人との交流、新しい世代への貢献などさまざまなチャンスと出会いが待っており、学生団体とは一味違った団体です。

**日野が好き！日野の活性化に貢献したい！そんな大学生！！**

**(\*^\_^\*) 求む！日野RAC会員大募集！(\*^\_^\*)**

## ・東京日野RACの主な活動

- ・浅川クリーン作戦：日野ロータリークラブ、WING会の会員と共に参加
- ・日野新撰組祭ボランティア：  
全国から集まる新撰組ファンが土方歳三や隊長役を目指して戦う「隊士コンテスト」  
1日新撰組の法被を着て続々到着する参加者の誘導からサポート、審査の管理を行います！そんな中参加者と仲良くなって新撰組ファンのオフ会にも呼ばれたり・・・！
- ・他クラブ（中央大学・府中・八王子・昭島・銀座・目黒・品川などが同地区）の例会などに参加：月2回の例会で各クラブ色々な企画をたてています。チャリティー運動会や、東海道清掃活動、英語研修、フットサル大会など・・・
- ・中学生ブリティッシュヒルズ国内留学の支援  
：その後も絆を深めるためWING会を組織、継続的に親睦支援を行っている。
- ・社長の鞆持ち体験～学生が仕込むインターンシップ体験～  
：日野市の車整備会社社長、外資系保険トップ営業マン、キャバクラ経営者などに同行！就活サイトではできない体験がここに！企画、アポ、広報すべてやります！



## ひまわり

荻原 大樹（電気電子システム工学科 3年）

ひまわりは 2008 年に発足したサークルです。活動は月 2 回大学の近隣にある七生福祉園へ行き、自閉症、ダウン症などの知的障がいのある 3 才から 10 才位の子どもたちが共同生活している低年齢 1 寮で子供たちと遊んでいます。

1 回の活動では前半に外遊びを行い、学生は外で自由に遊ぶ子ども達のサポートをしています。雨の日はプレイルームで遊んでいます。後半は中遊びという形で学生が考えた遊びを行っています。内容は工作、絵本読み聞かせ、体操や手遊びなどです。工作は危険のないようにハサミや液体のりなどは使用せずに作れるように、学生が事前に準備を行っています。

活動の前には週 2 回ミーティングを行い、活動

計画や工作の事前準備をします。また、毎回活動後には職員の方と反省会を行って、今後の活動の課題と解決策を探求します。

今年の夏休みには学生で夏合宿を行い、今年の秋以降子どもたちと一緒に作る工作の研究を行って、子どもたちに喜んでもらえるように研究してまいりました。

ひまわりでは、学生が子どもそれぞれの障がいや性格をよく理解し、子どもたちに楽しんでもらえるよう、これからも継続的に活動できるよう皆で仲良く励んでいきたいと思っています。



## BUKAS カンボジアボランティアスタディーツアー

伊藤 愛可（心理・教育学科教育学専修2年）

『未来の教育と明日の生活費、どちらが大切だと思いますか？』

この言葉は、4年生のメンバーが大学2年生の時にカンボジアのアンコールワットで物乞いをしている少女に「なぜ、学校に行かないの？」と聞いた際の答えです。

私たちBUKASは今年の夏休みにカンボジアを訪れ、幼稚園、孤児院(ストリートチルドレン)、フリースクール、病院などで活動をしました。それらの活動を通じて多くの事を見て、学び、感じました。

私たちがカンボジアに行く前まで、その国に対する印象は「貧しい」というのがとても強いものでした。「貧しい」から物乞いをする。ゴミ山で稼がなくてはならなくなる。治安が悪い。そして、ストリートチルドレンがいる。さらには、人身売買・・・私たちの抱いた「貧しい」という印象は、とてもカンボジアに対するイメージを悪くしていくものでした。しかし、実際にカンボジアに来て、活動しているうちにその印象は薄れていきました。子どもたちが心を開いて、笑顔でハイタッ

チしてくれた時、抱きついてきてくれた時、本当に嬉しかった。この活動に「貧しさ」も「豊かさ」も関係ない。確かに、日本はカンボジアよりも治安が良く、「豊か」かもしれない。だけど、子どもたちの笑顔は「豊か」を感じさせるとても満ち足りたものでした。

今回の活動で、「貧しさ」の中にある「豊かさ」を肌で感じました。楽しそうに満ちた笑顔を見せてくれる子どもたちを見ていて、本当の「豊かさ」とは何かと考えさせられました。ただお金があり、ものが溢れていることを「豊か」というのか。

皆さんにとって「豊かさ」とは何ですか。

今回のツアーで、普段の生活の中で当たり前になっていて忘れていた大切なものが気になりました。それを見つめ直したいと思えました。今回、皆さんに協力を依頼し、寄付して頂いた鉛筆の総本数 5,669 本、タオルの総枚数 148 枚。他にも色鉛筆、クレヨン、色ペンなども寄付して頂きました。鉛筆は幼稚園へ、タオルは病院へ、他の色鉛筆なども各活動場所に寄付させて頂きました。ご協力ありがとうございました。



カンボジアの子どもたちと

## 学生の活動現場から

### アートプログラム青梅

福海 洋介（造形芸術学科 造形デザインコース 4年）

2010年10月29日から翌月28日まで行われた、アートプログラム青梅での活動について説明しようと思います。

アートプログラム青梅は、明星大学と他の美術系大学の学生が青梅の町の中にそれぞれの美術作品を展示するというもので、60人近くの学生が民家の庭、路地裏、公園や山の中などにそれぞれの作品を展示しました。私もこのプログラムに専攻コースの作間先生の薦めもあり参加しました。この活動で非常にやりやすかった点は、その立地にありました。なにせ開催されるのは青梅市で、開催エリアは大学から歩いてせいぜい10分くらいのところなのです。その上地域の方たちの協力も、大学の今までに行われた活動のためか非常に協力的でした。さらにうれしい事は、私の作品を展示したのが今は、防災倉庫として使われている消防団小屋の2階だったのですが、そこを現在管理している青梅市役所防災課の職員の方々に大変よくしてもらえたことです。1回目の電話の問い合わせの後すぐに書類をそろえてくれ、使用料も免除してくれたのです。後日談で、同じ場所を他大学の学生が使おうと問い合わせたそうです。その時にはすでに私が手続きを終了した後で、一足違いで私が場所を抑えることになりました。この話からでも、地の利があったといえるでしょう。しかし問題もありました。それはその小屋に電気設備はあっても電気が通っていないということでした。つまりスイッチを押しても明かりすらつかないという状態でした。

私の作品は主に電気を使うことがよくあり、この時の作品もそのつもりでした。その為、私は「作品の内容を変える」か、「電気を復旧させる・近隣から借りてくるなどして対応する」の選択を迫られました。結果的には車載バッテリーを流用した装置を作り、なんとか設置にこぎつける事が出

来しました。また、もう一つの問題として事前に完成させ大学内で繰り返しテストしていた作品が、いざ現場に持ち込んで設置したところ、うまく作動しないということがありました。それはテスト時に設置していた条件と、現場に設置した時の条件が全然ちがっていたためでした。この時はさらにパーツを追加することで事なきを得たのですが、持ち込んだ先での環境をしっかりとシュミレーションしていないと、どんなにうまく作れていてもその環境の条件に合わなければ、自分の思うようには展示することができないということを感じさせられた問題でした。しかしその苦労のいかいもあり、展示場所に設置したノートには好印象なコメントを多数書いてもらっており、自身の展示のスキルを高めるためにも非常に有意義な活動でありました。



\*\*\*\*\*

## ☆センター活動報告☆

ここでは 2010 年 8 月以降の本センターの主な活動と、学生教育ボランティア参加者数、ボランティアセンター団体登録の状況について報告します。

### 2010 年 8 月からの主な活動

| 月  | 日                                       | 行事等                                                      |                                               |
|----|-----------------------------------------|----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 8  | 2                                       | ひの児童館訪問、「日野市社会福祉協議会」へ、エコキャップ 83.5K g (累計 760K g)         |                                               |
|    | 3                                       | 「星友祭実行委員会」、毎日新聞朝刊多摩版 MCAT の記事掲載                          |                                               |
|    | 4                                       | 「日本の防犯」取材                                                |                                               |
|    | 5                                       | 「日野市青少年委員」「日野市ローターアクトクラブ」「関西国際大学」来室                      |                                               |
|    | 6                                       | 「法人広報」「日野市環境保全課」来室                                       |                                               |
|    | 9                                       | 「日野わーく・わーく」来室                                            |                                               |
|    | 10                                      | 「府中市子ども家庭支援センター」来室、「日本の防犯」MCAT 取材                        |                                               |
|    | 25                                      | 「日野警察署 交通課」来室                                            |                                               |
|    | 26                                      | 「colourセラピスト」来室                                          |                                               |
|    | 27                                      | CO2 削減運動 (参加者 4 名)                                       |                                               |
|    | 28                                      | 読売新聞朝刊 MCAT の記事掲載                                        |                                               |
|    | 31                                      | 警視庁ボランティア団体団結式 (参加者 12 名)                                |                                               |
|    | 9                                       | 1                                                        | 「MCAT」産経新聞掲載                                  |
|    |                                         | 2                                                        | 「日野わーく・わーく」「光の家」「日野市環境保全課」、「日野市ジョブコーチ 1 期生」来室 |
| 3  |                                         | 「夢ヶ丘小学校」訪問、「日野市ローターアクトクラブ」来室                             |                                               |
| 7  |                                         | 実践女子大ボランティア同好会とMCAT との交流会 (参加者 22 名)                     |                                               |
| 8  |                                         | 「日野市ジョブコーチ 1 期生」来室                                       |                                               |
| 9  |                                         | 「日野市社会福祉協議会」「すずかけの家」「ひの児童館」「日野警察署」訪問                     |                                               |
| 10 |                                         | 「レインボーサイン」手話ビデオで学習会。                                     |                                               |
| 13 |                                         | 「レインボーサイン」手話ビデオで学習会。「Photograph Writing Draw up」来室。      |                                               |
| 14 |                                         | 第 1MCAT 会議、手話講習会 (参加者 6 名)「大和市大野原小学校」来室。育星会による MCAT の取材。 |                                               |
| 15 |                                         | 「創価大学生」「キャノン」来室                                          |                                               |
| 17 |                                         | 「東京学芸大学 学務部学務課」「ネットワーク多摩」来室                              |                                               |
| 21 |                                         | MCAT 会議、夢ヶ丘学校とMCAT 学生との打ち合わせ、「筑波大学附属聴覚特別支援学校」来室          |                                               |
| 24 |                                         | 「あすなろの会」「めばえの会」「ネットワーク多摩」来室                              |                                               |
| 25 |                                         | 「いのちのミュージアム」訪問                                           |                                               |
| 28 | 第 5 学生ボランティアグループ会議、第 3 回ボランティアセンター運営委員会 |                                                          |                                               |

|    |    |                                                                                           |
|----|----|-------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | 29 | 「日野市社会福祉協議会」へ、エコキャップ 50K g (累計 860K g)                                                    |
| 10 | 5  | 「日野市青少年委員」「日野警察署 交通課」来室                                                                   |
|    | 6  | 生活安全課 日野ケーブルTV取材                                                                          |
|    | 9  | 「平成 22 年度 日野市民 地域安全のつどい (日野警察署支援)」(参加者 10 名)、<br>至誠ホームボランティア                              |
|    | 12 | 「夏のボランティア活動報告会」(参加者 100 名)、「交流会」(参加者 60 名)                                                |
|    | 14 | 「第 11 回手話講習会」(参加者 7 名)                                                                    |
|    | 15 | MCA T 「日野駅前振り込め詐欺防キャンペーン」(参加者 4 名)                                                        |
|    | 19 | 「日野市役所企画部企画調整課」来室                                                                         |
|    | 20 | MCA T 「引ったくり防止キャンペーン」(参加者 3 名)、<br>「東京グリーン・キャンパス・プログラム」THE HINO NEWS掲載                    |
|    | 21 | 「第 12 回手話講習会」(参加者 4 名)、「日障連」来室                                                            |
|    | 22 | 「日野市社会福祉協議会」へ、エコキャップ 30K g (累計 890K g)                                                    |
|    | 25 | 「日野わーく・わーく」「夢ふうせん」「スープの会」来室                                                               |
|    | 26 | 「日野市環境保全課」来室、パトロール(参加者 4 名)、<br>学生第 6 回ボランティアグループ会議                                       |
|    | 29 | 「ネットワーク多摩」来室                                                                              |
|    | 31 | 星友祭参加。「日野わーく・わーく」「日野療護園」出店。                                                               |
| 11 | 2  | 「日野市社会福祉協議会」へ、エコキャップ 15K g、「日野市環境保全課」来室                                                   |
|    | 3  | 高幡不動駅 「APEC セレモニーパレード」(参加者 13 名)、日野CATV取材                                                 |
|    | 9  | 「第 13 回手話講習会」(参加者 5 名)                                                                    |
|    | 10 | 「東京グリーン・キャンパス・プログラム」毎日新聞掲載                                                                |
|    | 11 | 「日野市社会福祉協議会」へ、エコキャップ 15K g (累計 905K g)                                                    |
|    | 11 | 「警視庁生活安全課 生活安全総務課」来室                                                                      |
|    | 15 | 「東京グリーン・キャンパス・プログラム」広報ひの掲載                                                                |
|    | 16 | 「ネットワーク多摩」来室                                                                              |
|    | 17 | 「東京ボランティア市民活動センター」「ネットワーク多摩」来室、<br>Star Shops 取材、地球緑化センター説明会(参加者 7 名)                     |
|    | 18 | 「ネットワーク多摩」来室                                                                              |
|    | 19 | 「ネットワーク多摩」来室、第 4 回ボランティアセンター運営委員会                                                         |
|    | 22 | 「日野市安全課」「ネットワーク多摩」来室                                                                      |
|    | 25 | 「第 14 回手話講習会」(参加者 10 名)、「ネットワーク多摩」来室                                                      |
|    | 26 | 「ネットワーク多摩」来室                                                                              |
|    | 27 | 「学生ボランティアシンポジウム」開催協力(参加者 25 名)、交流会、<br>「MCA T」日野CATV放映                                    |
|    | 29 | 「警視庁振り込め詐欺被害防止アドバイザー委嘱状交付式」(MCA T 参加者 14 名)、<br>第 7 回学生ボランティアグループ会議(参加者 17 名)、「梁プランニング」来室 |
|    | 30 | 「日野市社会福祉協議会」へ、エコキャップ 115K g (累計 1020K g)                                                  |

|    |    |                                                                         |                                            |
|----|----|-------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 12 | 1  | 「ネットワーク多摩」来室                                                            |                                            |
|    | 6  | 「NPO法人 Filo」来室                                                          |                                            |
|    | 8  | 「認知症サポーター養成講座」(参加者12名)                                                  |                                            |
|    | 9  | 「第15回手話講習会」(参加者5名)                                                      |                                            |
|    | 10 | 「日野市社会福祉協議会」来室                                                          |                                            |
|    | 13 | 「第2回ノートテイク講習会」(参加者8名)                                                   |                                            |
|    | 14 | 「第8回学生ボランティアグループ会議」、八王子市立上柚木中学校来室                                       |                                            |
|    | 15 | 「MCAT」高幡不動で活動、「MCAT」読売新聞取材                                              |                                            |
|    | 16 | 「第16回手話講習会」(参加者9名)、「MCAT」高幡不動で活動、「MCAT」読売新聞掲載、「あきるの100キロ徒歩のたび」「CANON」来室 |                                            |
|    | 17 | 「法政大学ボランティアセンター」来室                                                      |                                            |
|    | 20 | 「夢が丘小学校校外委員」「日野市防災安全課」来室、「MCAT」高幡不動にて防犯活動、「MCAT」が「ボランティア論」授業内で活動紹介      |                                            |
|    | 25 | 「MCAT」読売新聞掲載                                                            |                                            |
|    | 27 | 「日野市社会福祉協議会」へ、エコキャップ30Kg(累計1050Kg)                                      |                                            |
|    | 28 | 「日野市環境保全課」来室                                                            |                                            |
|    | 1  | 1                                                                       | 「ボランティアシンポジウム」大学新聞掲載                       |
|    |    | 11                                                                      | 「第9回学生ボランティアグループ会議」、「日野療護園」「ネットワーク多摩」来室    |
|    |    | 13                                                                      | 「第17回手話講習会」(参加者6名)、「MCAT」警察庁より感謝状と防犯活動用具贈呈 |
|    |    | 21                                                                      | 「第5回ボランティアセンター運営委員会」                       |
|    |    | 27                                                                      | 「日野市社会福祉協議会」へ、エコキャップ50Kg(累計1100Kg)         |

◆ボランティアセンター登録団体 (2010年12月末現在)

|    |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|----|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学内 | 15 | 1:教育研究部 2:ボランティアサークル「めばえの会」 3:初等教育研究会「どろんこの会」 4:ボランティアサークル「SMILY」 5:I dear 研究会 6:朝日キャンプ 7:ひまわり 8:へき地教育研究会 9:児童文化研究会「人形劇団まめ」 10:海外支援サークル「あすなろの会」 11:BUKAS 12:授業研究会「おはようの会」 13:Star☆Shops 14:防犯ボランティア隊MCAT 15:Rainbow Sign 16:Meisei Clean Project                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 学外 | 71 | 1:障害児放課後活動クラブオンリーワン(府中市八幡町) 2:NPO法人Filo(多摩市落合) 3:NPO法人Hope Scoop Asia(福生市本町) 4:「めばえ」の会(青梅市新町) 5:コシヒカリの郷南魚沼市自然体験村実行委員会(新潟県魚沼市六日町) 6:日の出町ボランティアセンター(西多摩郡日の出町) 7:NPO法人日本子守唄協会 東京多摩支部(福生市加美平) 8:社会福祉法人武蔵野会 すぎな愛育園(八王子市台町) 9:ひの市民活動団体連絡会[ひの市民活動支援センター](日野市日野) 10:日野市立つばさ[自立訓練・就労](日野市旭が丘) 11:日野市立やまばと[地域活動支援](日野市旭が丘) 12:NPO法人なかよし会 なかよしクラブ(三鷹市牟礼) 13:あさやけ作業所(小平市小川) 14:NPO法人全国移動サービスネットワーク(世田谷区船橋) 15:ひの炭やきクラブ(町田市小山町) 16:水と緑の日野・市民ネットワーク[みみネット](日野市日野本町) 17:児童養護施設れんげ学園(東大和市芋窪) 18:都立多摩桜ヶ丘学園 島田分教室(多摩市中沢) 19:社会福祉法人 東京光の家(日野市旭が丘) 20:社会福祉法人 夢ふうせん 工房夢ふうせん(日野市旭が丘) 21:東京都 日野療護園(日野市落川) 22:日野市 環境情報センター(日野市日野本町) 23:東京YWCA 国領センター(調布市国領町) |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>24：社会福祉法人共働学舎（町田市小野路町） 25：日野市国際交流協会（日野市本町）<br/> 26：NPO 法人 ふみ月の会（調布市布田） 27：立川市青春学級（立川市柴崎町） 28：あきる野市社会福祉協議会 市民活動推進係（あきる野市平沢） 29：VFM 東京（青梅市） 30：いきいきふれあいフェスティバル実行委員会（青梅市今寺） 31：島田療育センター（多摩市中澤） 32：あきる野青年会議所（あきる野市秋川） 33：日本児童野外活動研究所（品川区西五反田） 34：日野・発達障害を考える会「スキッパー」（日野市多摩平） 35：特定非営利活動法人 療育ネットワーク川崎（川崎市多摩区） 36：CoCoA（豊島区東池袋） 37：社会福祉法人 ココロ学舎（西多摩郡瑞穂町） 38：社会福祉法人 至誠学舎立川 至誠ホーム（立川市錦町） 39：ボランティアグループこすもす（日野市多摩平） 40：NPO「おたすけ個別補習塾」（日野市三沢） 41：地域デイサービス テイクオフ（立川市高松町） 42：日野市障害児童クラブ（日野市平山） 43：野楽（tama Rock）（府中市是政） 44：NPO 法人 グループゆう（東大和市中央） 45：財団法人日本野鳥の会（日野市南平） 46：日野市青少年委員の会（日野市神明） 47：NPO 地球緑化センター（中央区八重洲） 48：ペットを災害から守る市民の会（立川市高松町） 49：社会福祉法人 山の子会 山の子の家（日の出町大久野） 50：すみれいきいきケアサポート（八王子市台町） 51：滝乃川学園（国立市谷保） 52：財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン（新宿区西新宿） 53：スープの会（新宿区赤城下町） 54：特別養護老人ホーム こもれびの郷（あきる野市雨間） 55：特定非営利活動法人 オックスファム・ジャパン（台東区東上野） 56：知的障害児者デイサービスグループ ばんびの会（西東京市田無町） 57：みんなの森準備会（西多摩郡日の出町） 58：任意団体日本障害者モータースポーツ協会（青梅市二俣尾） 59：医療法人社団東京愛成会 高月病院（八王子市宮下町） 60：緑地管理ボランティアの会（日野市旭が丘） 61：サポートチーム「むく」（多摩市山王下） 62：きょうだいの会（横浜市南区） 63：社会福祉法人 正夢の会 昭島生活実習所（昭島市松原町） 64：湘南自然学校（茅ヶ崎市ひばりが丘） 65：特定非営利活動法人 ECOPLUS（千代田区鍛冶町） 66：東京ローターアクトクラブ（日野市程久保） 67：NPO 法人 ここかまど（八王子市上野町） 68：東京ヴェルディボランティア（稲城市矢野口） 69：NPO 法人 野外遊び喜び総合研究所（あばれんぼキャンプ）（府中市晴見町） 70：知的障害者厚生施設（通所）すずかけの家（日野市南平） 71：ちーむ夢人間 にこにこキッズルーム（調布市小島町）</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

◆明星大学ボランティアセンター運営委員会の構成（2011年1月末現在）

|               |                                                                    |                                                                                                                                     |
|---------------|--------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 副センター長        | 吉澤 秀二                                                              | 理工学部 環境システム学科 教授                                                                                                                    |
| 学生部長          | 垣内 国光                                                              | 人文学部 実践福祉学科 教授                                                                                                                      |
| センター長が必要と認める者 | 黒岩 誠<br>星山 麻木<br>菱山 覚一郎<br>作間 敏宏<br>安田 満<br>富田 一弘<br>村山 光子<br>岸部 亨 | 人文学部 心理学科 教授<br>教育学部 教育学科 教授<br>教育学部 教育学科 教授<br>造形芸術学部 造形芸術学科 准教授<br>経済学部 経済学科 専任講師<br>ボランティアセンター担当事務局次長<br>学生サポートセンター長<br>青梅事務室 課長 |
| 事務局長          | 赤山 徹                                                               |                                                                                                                                     |
| 専任職員          | 吉田 雅行<br>畑野 理美<br>鐘ヶ江智恵子                                           | 日野校 ボランティアセンター主幹<br>日野校 ボランティアセンター主任<br>青梅校 青梅事務室 ボランティア担当                                                                          |
| オブザーバー        | 石田 健太郎                                                             | 人文学部 社会福祉実習指導員                                                                                                                      |

